



●18日に記事掲載されて、大石くんにもメールをもらっていたのに、ナシのついでで失礼しました。大石くんのたくさんのメールも届いていますが、それを読む前にこちらの返信をすることにしました。大石メールはあとでゆっくり楽しみながら読もうと思っています。

「島津義弘没後400年」シリーズは3月から5月、7月、9月、11月と5部に渡り1年間をかけて南日本新聞に連載されました。

全部の切り抜きもやっと今日完成させることができました。

昨年のNHK大河ドラマ「西郷どん」にも増してこの連載記事は待ち遠しいものでした。

最終回はちょっとあっけなく終わった気がしないでもありませんでしたが、最後まで自分の知っていること以外のことが、出てきて勉強不足を感じました。

義弘と兄・義久の関係が最終回の両者のやりとりに書かれています。義久の娘・亀寿(忠恒嫁)を助けるために義弘が西軍に付いた? にもかかわらず、「義久は喜ばずに言った。私は義弘がと家康が固く約束したと聞いていた。それにもかかわらず、三成の暴挙に従ったのは、二枚舌だ。武士たるものの恥である」と言っているとのことだが、このあたりは最後まで真相がわからない。

歴史の真実を探ることのむつかしさを感じますね。

昨日11月19日は先日話をしましたが南国バスの日帰りツアーで延岡方面に行ってきました。

かねて行きたいと思っていた延岡市北川俵野にある「西郷隆盛宿陣跡資料館」がコースに入っていたからです。

ここは、西郷軍が延岡の和田峠の戦いに敗れ、西郷以下、幹部が集まって最後の軍議を開いて軍を解散することを決めた場所です。ここで西郷は陸軍大将の服を焼いたと言われています。

久しぶりに「島津義久」を「西郷隆盛」に切り替えて解説を聴いたり、見学したりでいい日になりました。

いずれ、また時期をみて詳細を書こうと思っています。

クマモト タツオ

○「西郷隆盛宿陣跡資料館」を訪れたとのこと流石ですね

西郷さんも、これまでと思いを定めた場所であったでしょう。

和田峠の戦いに敗れた。

戦いとは、203高地をはじめ、先の戦争の頃は高地や峠を取ることが戦局を決したものであったようです。

今日では、選挙区を奪い合う戦いが、間々あります(蛇足御免)

西山 和宏

○私は昨日の新聞で知りました。

半信半疑でしたが、やはり川上さんでしたか。

中学校も一緒だったので、八期会の同窓会ではよく話をしました。

ご冥福をお祈りします。

隈元 達雄

○お知らせ 有難うございます! 友人の訃報は 辛いですね(泣) 御冥福を祈ります

遊びに行って 帰ってから まだ江戸川にいます ここ二・三日 寒くて 今日 朝から雨 真冬です その中をせっせと 出歩いてます。みなみちゃんの 先週の ホールインワン 素晴らしく 大喜びでした ますます 頑張っ て 欲しいですね

だんだん 年末に向かいます お身体に気をつけて お暮らしてください

○帖佐は元々も始良ではなかったでしょうか。

始良町時代は鹿児島県の町村で最も人口が多かったそうです。

加治木町、蒲生町と合併後も帖佐駅から山に向かって広い範囲が帖佐のようです。小中学校も帖佐の名前がついています。

地図を見ても帖佐駅の前に「始良市役所」があって、イオンなども近くです。市の中心部ににもなっており、加治木と蒲生は支所が置かれています。

精矛神社の内容が充実してきたそうで嬉しいことです。

写真パネルを貼った説明の石碑が10基もできたそうで、再訪する場所が増えました。稲荷神社も。

11月7日には鹿児島中央駅西口側にある「西郷公園」にも西郷の漢詩を刻した石碑が出来たそうですが、まだ行っていません。

ご存知のようにこの公園には西郷と庄内藩（山形）の家老・菅実秀の対談の像などがありましたが、今回鹿児島市と鶴岡市の兄弟都市盟約50周年記念として、つくられたそうです。西郷は明治6年の政変で鹿児島に帰ってきましたが、それ以降ここに住んだと言われています。我が家は疎開先から鹿児島市に帰ってきたときにこの近くに家を借りて、私が小学校3年から中学2年まで足かけ6年住んでいました。当時の西郷屋敷は草木に覆われてお化け屋敷のような感があり、一歩も入ったことはありませんでした。

私が鹿児島を離れていた20年間にこの近辺は区画整理が行われ、その後、新幹線もほぼ真横を通るようになり、広い公園になっています。近々訪ねてみようと思っています。

蛇足 この近くには島津綱貴（20代当主）の女人の墓標4基がありましたが、前記のような事情で福昌寺跡墓地に移されているのを確認をしています。

クマモト

○征長軍解兵により、西郷吉之助は慶応元年（1865）正月15日、鹿児島に戻り久し振りに弟妹や親類と過ごした。

安政6年（1859）正月、大島行の船に乗せられてからそれまでの6年の間、鹿児島の家にはいたのはわずかに5日間であった。

慶応元年正月の帰国のときには、それまでと異なり長州征伐を治め、天下に勇名を馳せた吉之助であった。

大島に愛加那と子供2人がいたが、身分が高くなった吉之助に、鹿児島で妻帯すべきだと大久保一蔵、小松帯刀、鹿児島に滞在中の坂本龍馬などに強く勧められ、帰国から間もない正月28日、小松の媒酌により、家老座付書役岩山八郎太の長女「いと」と盛大な婚礼を挙げた。

吉之助が郡方書役の頃から住んでいた上之園のあばら家から、家老二階堂主馬の武村の空屋敷を提供されて移り住んだ。敷地1500坪、御殿風の邸宅であった。明治3年、譲り受けて吉之助の所有になった。

西山 和宏

○西郷屋敷跡の昭和10年の略地図がありました。

はっきり覚えていませんが、「武・田上郷土史」のものをコピーしたような気がします。

私が住んでいた西郷屋敷の右上には二階堂さんの屋敷もありました。

地図に書き入れた「島津墓地」の下には、二階堂家の墓地もありました。（現在は東京に移設されたとのこと）地図の下の部分に見えるのが「西鹿児島駅」です。

○ありがとうございます頑張っていますね。こちらが本職

○本職は、POSデータをベースに、スーパーマーケットで販売した商品1品ずつの利益解析ですが日本の経営者はデータ解析よりも感と度胸で運に頼った経営を好むためデータ解析はあまり評判はよくありません。

それとは対照的に、米国はデータをベースにした確率で物事を進めます。

米国の流通事情は、米国のデータ活用状況を学ぶ過程で得た副産物です。

多くの場合、本当に売りたい物よりも副産物、客寄せの道具のほうに関心は集まるものようです。

西山 和宏

○ありがとうございます。

ただ、この本は私は以前買って読んでいます。

大げさに言えば、私のそれまでの島津史観を大きく変えるきっかけになった本です。

蛇足 先ほどアップしましたがブログに先日行った延岡の「西郷隆盛宿陣跡資料館」を書きました。

島津から「先祖返り」ならぬ「西郷返り」になっています。

クマモト

○この頃、お送りしたい新聞情報がなくてご無沙汰してます。マイナー情報ですが『平松城』添付します。「庄内の乱」一藩主忠恒が家老の伊集院忠棟を殺害したので子の忠真が都城の地から島津に対して起こした内紛一関ヶ原の戦い(1600)前は日向(宮崎)方面がざわついていたようです。

○元気な高齢者が増えたことで

地元の歴史の関心も高まっているのでしょうか？西山 和宏

○今日は先日から話をしていた鹿児島作曲協会の児童作品コンクールの授賞式があり、私たちの合唱団も演奏を頼まれて中学、高校の声楽の部の最優秀作品の演奏をしてきました。たった2曲の演奏ですが、午前中のリハーサルから始まって終わったのは午後3時半です。いささか疲れしました。

大石くんのメールの「平松城」は重富の『平松城』と違って知名度が今ひとつ低いですが、先日大石くんがてんぷしてくれた「古城盛衰記」にもしっかり取り上げられています。そちらをみると詳細がよくわかりました。ありがとうございます。

クマモト タツオ

○いつも配信 感謝です。 長崎 諫早 森永

○11月29日

http://www.youtube.com/watch?v=TIBUdJRb_9M

昨日、こんな活動をしました。

大石

○11月30日

こういうのはいいですねえ。見ている間私も頬が緩みぱなしでした。

○大石さん

おはようございます。

荒田小学校と中国 長紗市の小学校との交流会 見せて頂きました。

よい 活動されて おられますね！

いつまでも 若く よいことと思います。 頑張ってください。

続いて 中国 ぶらり旅 19 見ました。 15年前 まだ 若き姿 でした。

ありがとうございました。

木場 祥雄

追伸 勝みなみさん 先週 もうすこし 最終日 残念でした。

今週も 頑張って 期待したいです。

○子供たちの純粋な笑顔が日中両方とも素晴らしいです。

テレビなどマスコミも取材したのですが、幅広く伝えてほしいですね。

クマモト タツオ

○小学4年生のときに このような交流ができるとは 素晴らしいことです。

西山

○大石 慶二 様

楽しいメール、ありがとう！！

ほんとに子供たちの「交流」は愉快的事ですね？！

特に、お互いの挨拶の時点では固さが見られましたが、お互いの小さなグループになって、おしゃべりしている映像を見て、嬉しくなりました。

言葉は通じないかもしれませんが、皆さんが同期生であることで、仲間意識が出ていましたね？！

出来たら、代表的な「会話」の紹介もあったらと思うことでした。

ところで、「長沙市」と鹿児島市が「友好都市盟約」を締結していることは、市電などの広告やイベントなどの紹介で、知っていましたが、その「イワレ」や「その「経過」は知りません。

おそらく貴兄らのご尽力されたのでしょうか？長沙市を地図で見ると、中国でも「内陸」に位置していますね？！

ナポリとの姉妹都市はアチラに行ったこともあり、ヴェスビオ火山と桜島との対比に海が絡み、

良く理解できますが、「長沙市」との同類項とは？

機会があったら、教えてください。

いずれにしても、ほほペましい「風景」でした。 2019、
12、1、 本田 哲郎

○いつもご丁寧なメールありがとうございます。今日は同期の女性（ハワイアンフラ主宰）の発表会が交流センターであり行ってきました。長沙市との友好都市盟約のこと、ゆっくりお話ししたいと思います。1982年に盟約を結びました。山之口市長の時代です。僕が参加したのは2000年頃です。おおいし

○また、このような機会を設けられたことは当に良いことだと思えます。人生とは 所詮 佳き思い出創りだと思えます。西山 和宏

○貴方には来ませんか？

家久毒殺？の真相は？

下手人にさせられた上井覚兼のこと書いて見ました。この人、永吉の人ですか？

○永吉の人です。本田さんから名前が出たことがあります。

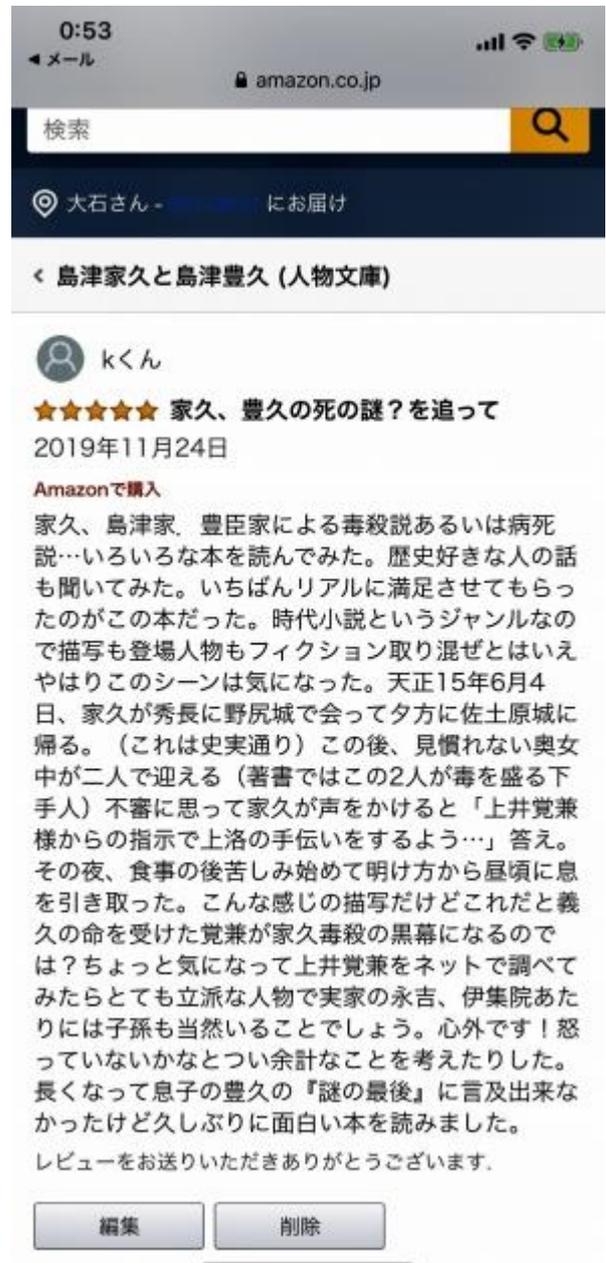
詳細は大石くんにプレゼントした「歴史人 薩摩島津家 最強の真実」のP70にあります。

○永吉の人です。本田さんから名前が出たことがあります。

詳細は大石くんにプレゼントした「歴史人 薩摩島津家 最強の真実」のP70にあります。

○いくら小説とはいえ義久の命を受け家久をあやめる役はしないでしょうね。Wikipediaにも立派な人物ですよ。それがあの小説では？家久と「戸次川の戦い」を戦ったのでしょうか。

○遅くなりましたが、amazonの書評を読みました。3つの書評の中で一番詳しく、いいと思いました。



やはり気になるのは、家久の突然の死の真相ですね。

クマモト

○八期忘年会・新年会について昨日私は、「毎年、新年会でやっているよね」言いましたが、私の勘違いで今年も新年会はなくて、昨年12月7日に忘年会をやっていましたね。

それまでは、新年会が多かった気がします。去年は木村さんが早くに手をつけてくれたのでしょうか。

いずれにしても、今回は、やるとすればもう新年会しかないですね。

○12月2日 昨日(1日)、鹿児島県民交流センター県民ホールで木村美子フラ公演があり大盛況でした。

○素晴らしいですね。

老いて益々とは言わずとも楽しく健康であることはどの世代であっても素晴らしいことだと思います。

西山 和宏

○大石さん はつらつのフラ公演 見ました。軽やかで若いですね。。配信有難う。 中間

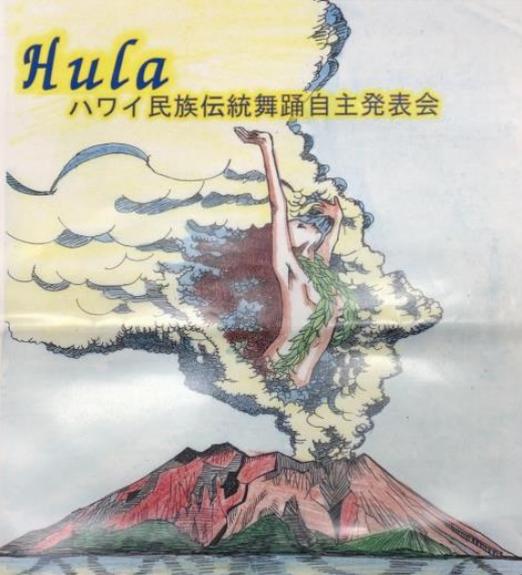
ごあいさつ

ビーチリゾートで楽しむ「ハワイ」もあり、フラ(踊り)を学びながら神話や伝説、歴史や文化を楽しむ「ハワイ」もあります～アロハ～日常的に使われてる言葉にも深い意味があります。
A=Akahai～思いやり、L=Lokahi～協調性、O=Olu'Olu～喜び、H=Ha'aHa'a～謙虚な心、
A=Ahonui～忍耐を意味します。
このアロハの心を大切に今回は「感謝」をテーマとしました。
令和元年の亥年にふさわしく hokuola S 喜舎場クムフラ振付により猪突猛進気迫のこもったイノシシの踊り古典フラと、美しい自然に和むイノシシの踊り近代フラをオープニングに、これからのひと時を私達と一緒に楽しんでいただければ幸いです。今日まで温かく見守り支えてくださったご家族の皆様、本日のステージを支えて頂いてるスタッフの皆様へ心から感謝申し上げますと共に、ご来場いただきましたお客様方へ生徒一同心から感謝とお礼申し上げます。



ハワイアンフラ/ナプア オ カモクウラ
鹿児島教室代表 木村美子

Hula
ハワイ民族伝統舞踊自主発表会



2019.12.1(日) 県民交流センター県民ホール

開場 13:30 開演 14:00 終演 15:30

※カメラ・ビデオ等の撮影はご遠慮ください。 ※6歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。
※入場無料(要整理券) 主催 ハワイアンフラ/ナプア オ カモクウラ



●美子さんの動画送ってくださってありがとうございます。すばらしいですね、拍手！これからもお元気でいらっやいますように。吉田 節

●実はまだ本文を読み終えていません。鹿児島に住んでいます。地元の南日本新聞社が今年(島津義弘没400年)というシリーズを出した。県外に住む歴史好きな高校仲間たちにスキャンして送った。数冊の島津関係の本を読んだ中で本書の新名一仁氏の「はじめに」ー中世島津氏のイメージと研究動向ーを読んだだけで一瞬に気に入った。この本を参考書にしてもう一回新聞特集を送った仲間に勧めようと思います。島津四兄弟の名のついた本を今年、7冊程読んだ。送った友にして喜ばれる僕の勘に狂いは無いと思う。

岩川拓夫さんの(豊臣政権と島津氏)はまず最初に読みます。

https://www.amazon.co.jp/dp/4800315484?ref=cm_sw_em_r_rw_mw_sYUAljyPEwFET

●大石くんは書評を書いて amazon に送ったのですね。

私もこの本は何のきっかけだったか忘れましたが、だいぶ前に買って、今回の南日本新聞社の「島津義弘没後400年」シリーズの八期歴仲間の通信にも何回か引用しました。これは新名一仁氏の編集です。

大石くんの言うように、中世島津氏の研究に欠かせない参考書になると思います。

もう一冊紹介すると、新名一仁著の「島津四兄弟の九州統一戦」(星海社新書)があります。これも併読すると面白いですよ。

クマモト タツオ

●各位 中間より

宮崎でも地区の交流センターにおいて、「島津義弘と日向国」の表題で、島津義弘公没後400年を記念して、日向国での活動を紹介する講座が3回に分けて開催されました。(講師 新名一仁氏)

ここに第一回、第二回、第三回の各タイトル、項目の大要と略系図の2点をご参考までに送ります。

さらに、項目別の各解説が必要あれば、スキャン(PDF)して送信可です。

なお、先にクマタツさんより、「新名一仁著 島津4兄弟の九州統一戦」が提唱されましたが、若しかしたら内容で同じ部分があるかも知れません。

●天正8年から15年を宮崎城主だった上井覚兼に興味があります。佐渡原城主だった島津四兄弟の末っ子(家久)など、宮崎(日向)は島津四兄弟の時代の必須の舞台ですね。

僕もとても興味があります。隈元氏とクルマで一泊二日で訪れたいと話していますよ。 大石

● 新名一仁氏は「中世島津氏 研究の最前線」の编者紹介を見ると、宮崎の生まれで、現在 鹿児島大学と志学館大学の非常勤講師の任にあることなどから、今は宮崎に住んでおられるのではないのでしょうか。

本田哲郎さんも宮崎まで新名氏の勉強会に行ったことがあると、ブログにありましたから宮崎在住の線が強いですね。

まあ、それはどうでもいいことで、中間さんが聴きに行かれたことは嬉しいことです。

「島津四兄弟の九州統一戦」と同じ部分があっても全然大丈夫ですよ。講義の中には必ず新しいことがあるはずですよ。

そして、そっくりそのままであっても、この歳になると、同じことを何回聴いても、すぐ忘れてしまって、常に新しいことを聴いた気がします。反復が大事です。(笑)

そして今日添付してもらった系図は大変よくまとまっており、特に「島津義弘婚姻関係図」はこれまで見たことがなかったので、すぐ両方とも印刷して永久保存にしました。

宮崎には是非行きたいですね。コースなどをぼつぼつ検討しましょう。
これだけ冷え込んでくると、やはり来春になるのかなあと思ったりもしています。 クマモト

●中間さん

お元気な様子でなによりです。
過日、竹之内望彦くんの企画と案内で
横浜で帆船日本丸、氷川丸、北朝鮮工作船などを見回りました。



11時集合、ランチタイムに1時間30分とり
5時まで緩々猿来しました。
皆、健脚とはいえ最後は座り込みました。
竹之内望彦、大山寛、西山和宏、東川敏治

●唐突もないことを言いますが系図にあります榊山広久は日向の人でその一族に種子島に渡った人はいないか、折がありましたら、詳しくな人に尋ねて何か分かったら教えてください。
種子島の中央部に日向なまりが残っていると方言分布図にあります。
種子島で、奥さんのことをカボチャバキーと言い、日向カボチャから連想して以前から気になっていました。
種子島を最初に征圧したのは薩摩ではなく日向であったと思っています。 西山和宏

●西山さん

東京での八期生、4人のさるっかたは楽しそうですね。
とても80歳には見えません。
4人とも若々しいですよ。
お尋ねの榊山広久という名前も初めて見ました。
少しでも調べてみましょう。
この系図は大変貴重なものだと思います。 クマモト タツオ

●おはようございます。

氷川丸は終戦後、引き上げ船として使用され4人の内の1人は、満州から引き揚げ、氷川丸は、引き上げ船の役目を終えた後南方の激戦後に戦死者慰霊の旅に就航し4人の内の1人は、トラック島に行かれたそうです。
私は、朝鮮釜山からの引き上げでしたが氷川丸ではありませんでした。
添付のアクセント図は、森永鉄美くんよりいただいたものです。
森永さん：アクセント図の経緯、メールの下記部分を参照ください。 西山和宏

● 12月9日 大石くん

宮崎県の島津関連史跡をピックアップしています。
いろいろな用語でweb検索をしていますが、たくさん出てきます。どの程度回れるかということもありますが、まとまったら史跡名と簡単な島津四兄弟やそれに連なる人脈の名前を付けて大石くんに提示します。(例えば、島津豊久、伊集院忠棟、忠真、上井覚兼など)そこから絞って行って、それからコースなども検討しなくてはいけませんね。

もうちょっと時間がかかりそうですが、できるだけ早く行けるようにしましょう。

クマモト タツオ

●向うで中間くんとも合流したいですね。 大石

● 私もそう思っていました。彼の都合さえつけば、誘いましょう。 クマモト

●大石さん、隈元さん 島津家躍動のこと興味が尽きません。
日向を統治した歴史探訪の企画、何分にも私自身勉強不足です。
おんぶにだっこになりますヨロシクです。 中間

●12月14日 終わったと思っていた「島津義弘没400年」の最終シリーズについて……

●ありがとうございます。

今朝新聞を見て、アレっと思ってもう一回見直したほどでした。

もう終わったと思っていた「島津義弘没後400年」の連載記事がまだ残っていたのです。

前回の「土風木強なり」を見直したところ、第5回「関ヶ原」の後に確かに1619年の死去までが残っていました。

前回の最終部に「義弘は政治の表舞台から姿を消すことになった」とあったので、私はもう全部終わったと早とちりしていました。

いずれにしても、義弘の最後までドラマを楽しめるわけですからよかったですね。

関ヶ原合戦後の島津氏の備えも大変だったようで、一時は本当に合戦の備えていろいろ準備をしたようです。それにしても、家康の義久へのしつこい上洛の要請を突っぱね続ける義久は、どういう気持ちだったのでしょうか。

根負けしたのか、どうなのか、家康がついに起請文を書いて島津氏の所領の安堵、忠恒（のちの家久）の家督相続、義弘のおとがめなしを約束したとのことですから島津氏にとっては粘った甲斐があったということでしょう。記事にあるように「明貿易」を願う家康の深謀遠慮だったとしてもです。

クマモト

●陳腐な表現ですが戦国の世は凄いですね。

宮本武蔵も関ヶ原の戦に手柄を求めたようですが、

余はすでに飛び道具、鉄砲の時代に移っていたようです。

今流に言えば、戦略・戦術にイノベーションがあったということでしょう。何しろ、調達・備蓄したのが、硫黄、煙硝、玉ということですから。

海外貿易の利権争奪は、今日の米中の貿易戦争に見られるように砲弾を打ち合うのに勝るとも劣らないものようです。

最後に起請文とありますが、出す方も受けた方も信じていたでしょうか？

上洛の要請に応じない、なぜなら、殺されるかもしれないから、武器弾薬の備蓄は、スパイを通じて家康に伝えられ、抑止効果もあったでしょう。

用心しながら、いざとなったら戦う姿勢を誇示する、立派ですね！

西山 和宏

●昨日の「さらば動乱の日々」の記事の最後に「家康は経腸7年4月、とうとう自ら起請文（きしょうもん）を出した。島津氏に約束したのは所領の安堵、忠恒の家督相続、そして義弘を追求しないことだった」とあります。

その「起請文」とはどんなものか wikipedia で見てみました。そこには概要次のようになっています。

「日本でかって作成されていた契約を交わす際それを破らないように神仏に誓う文書。文は先ず約束や契約の内容を書き、次に差出し者が信仰する神仏の名前を列挙し、最後に約束を破った場合にはこれらの神仏から罰を受けるという文書を書く」

しかし、同じ記事にあるように、毛利氏は、その起請文をもらっていたにも拘らず120万石から周防・長門に36万石で減封されたというのですから、島津忠恒も家康に最後まで気を抜けなかったのでしょう。そして、この記事にはありませんが、そのあと、義久に代わり義久を取り巻く家臣たちの物凄い反対を押し切って忠恒が上洛するのです。

話は戻って「起請文」という文言を見て繋がった言葉に「朱印状」があります。これまでも何回も出てきた言葉ですが、これも調べてみました。同じく wikipedia からの引用です。

「日本において花押の代わりに朱印が押された公的文書（印判状）おもに戦国時代から江戸時代にかけて戦国大名、藩主や将軍により発給された」とあります。

私には、この二つをどう使い分けをしたのかわかりません。暇にあかせて書いてみました。

クマモト

●隈元様 西山様 大石様 12月14日

いつも配信 感謝です。

謀略うずまく戦乱の世 日本の南端に位置する島津藩は 地の利があったのでしょうか。それに 来るなら来いと準備万端の島津勢 たぶん損得勘定をすれば島津遠征はしない方が得 ですよね^^

寒さ これからです。体調留意でお願いします。
長崎 諫早 森永

12月15日

南郷善之助君が念願の海の近くのマンションに引っ越しました。

仲間を呼んで飲み会を催し、呼ばれて参加してきました。隆親分が体調を崩し不参加、奥様が参加しました。写真には森くん(癌より生還)が映す方でさらに太った姿を見せられないのが残念です。



●12月16日 新聞切り抜き 第2号について...

戦国の世を生き延びるためには武勇のみならず機を見て動く外交の手腕も必要性は今の世にも通ずるものがあるようです。西山 和宏

● 今回のシリーズでも、いつも初めて知ることが多く、驚くことと、勉強不足を痛感することが多いのですが、今日の記事は大体予想したような展開でした。

西山さんが言っているように、「戦国の世を生き延びるためには・・・」同感です。

それに加えて、自分が生き延びるためには、親子、兄弟の間でも平気で騙したり、殺害したりも平気？ いや
そうしなければ、自分がやられてしまうという過酷な時代だったということが満載された今日の記事だと思
います。

まあ、そういう時代に生きなくて良かったと思う反面、私たち大人がこのまま漫然と生きていくと、地球温暖
化などで子孫に迷惑を及ぼすだけでなく、人類が減ってしまうような事態にもなりかねないという戦国時代な
ど吹っ飛んでしまいそうな怖い時代に生きていくということを自覚しなければいけませんね。

クマモト

●大石さん 古市です。 12月17日発

こんばんは。このところ強い腰痛に見舞われ、毎日、はり灸接骨院に通っておりメールもご無沙汰して
います。

本17日夕方メールを開いたら、桐野作人さんの講演会があるとのお知らせ拝見。

是非行きたかったのですが、開いたのが講演会の1時間前でどうにもなりません。

残念ながら今回はパスせざるを得ません。またの機会を待ちたいと思います。

お知らせいただき御礼申し上げます。

寒くなりましたが、鹿児島島の八期の皆さんお元気でしょうか。小生は今年は忘年会も全部キャンセルで
した。

●大石です。

あちこちから届く八期仲間の便りは7割がひざ腰の痛みと、喉、鼻の気管支系の悩みです。

80の坂を超えたら又10年平坦になることを祈りましょう。

昨日は南郷くん宅に呼ばれて食事会でした。

●西山レポートをお送りします。 にしやま

●西山レポートありがとうございます。

世界の流通の流れがよく分かります。

直接は関係ありませんが話の席などで引用させてもら
っています。

あと少して2020（フレイフレーと呼ぶのか、ふー
ふーとため息にならないよう）新年を迎えたいと思
います。 オオイシ

●大石さん

こんばんは

情報 送っていただき ありがとうございます。

鹿児島市内の公共施設を 運営費捻出のため 愛称をつける
私は 鹿児島に住んで居ないので ピンときませんが 何も
コメントしがたいです。

明治維新鳴動 冊子 後日 鹿児島に 帰郷の折にでも 見
て から 購入したいと思います。 話は 変わりますが

アマゾン あたりで 中世島津四代 ついてのなど 書物の宣伝が 目立つよう になってきています。

新名 一仁氏の 書物解説 付き など 今年も 2週間余りとなり あわただしく なって来た 感じします。

では また

木場 祥雄



●大石です。こんにちは！

出版のお知らせと、いかがなものかと思いますが。今まで公共ホールやアリーナが店名、(それもオシャレ感覚ゼロの)に変わる。西原商会、川商、平和テントなど。

●施設の愛称も商品名までなら許されるというわけではないが、今回の会社名そのものというのには、違和感を覚えますね。

私は、昨日テレビで見てがっかりしました。

「維新鳴動」は今日、新聞切り抜きをチェックしました。

元旦の大きな紙面と、第一回分は切り抜いていましたが、他は切り抜きをサボったのでしょうか、見当たりません。四六判の大きさを調べてみると188mm×130mmでした。紙できりとりしてみると、コンパクトです。当時も読んではいませんが、改めて購入しようと思います。

明日は松富さんのテレビ、明後日は黎明館3階講座室の開始が13時30分ですが何時にどこに集まりましょうか。

先着80人ですからね、ちょっと早く行かないと危ないかな？

クマモト タツオ

●2020は皇紀2600年生まれが80歳になる年です。

2020、ダブル20(ツーオー、トエンティ)というのはどうでしょうか？別に意味はありませんが、引用できるような内容がありましたら光栄です。

昔も今も、人も企業も何かを売り、何かを買って存在しています。

米中の貿易戦争に見られるように、流通は国の富の根幹をなすものです。

シルクロード、コロンブス、バスコダガマ、マゼラン流通によって富を獲得するための冒険でした。

西山 和宏

●大石くんと、昨日次のような講座に行ってきました。

令和元年度 第6回 黎明館学芸講座

(企画展解説講座を兼ねる) 「戦国を駆けた島津四兄弟と家臣団」

講師 鹿児島県歴史資料センター黎明館 学芸課 学

芸専門委員 吉村 晃一

この企画展に合わせた今回の講座では「戦国大名の系譜を区分したとき、守護大名から戦国大名へと成長した事例として、島津氏が挙げられることがある。しかし、戦国の世で生き残るためには、守護職(しき)のような古い権威だけでは通用せず、軍事的・政治的実力が不可欠であったのはいまでもない。戦国大名島津氏においても、一有力領主であった島津氏庶子の一つである相州家が、軍事的・政治的実力をもって、奥州家から島津本宗家の地位を奪取し、戦国大名へと成長していったと考えられる」

「戦国大名島津氏(相州家)が、薩州家といった有力一門家や肝付氏、菱刈氏といった有力領主を支配下に組み込み、薩摩・大隅・日向の三州を統一し、さらに九州全土を席卷するに至った過程を、また豊臣政権や徳川政権といかに対峙し、激動の時代を生き抜いたのかを、残された書状や絵図等をとおして紹介する」(はじめの説明)

このような説明で始まった講座は、上記のことを順を追って、スライドを使いながら具体的な説明があった。これまで南日本新聞に連載された「島津義弘没後400年」やそのほかで見聞したことを、まとめるような形でいくらかでも頭の整理ができた気がする。

大石くん添付の「さらば動乱の日々」⑤では、「琉球侵攻」と題して義弘の祖父島津忠良（日新公）の時代からの海外貿易のことを取り上げて、徳川家康の時代に至り、薩摩の貿易に関する妙味も次第になくなっていく様子などが描かれている。

私は、薩摩の琉球や海外に対する施策などについては不案内であり、これもお手上げである。

ところが、偶然にも昨日の講座の帰りに面白いものを入手した。帰ろうとして講座室から外に出た時に外の机の上に、たくさんのチラシなどが並べられていた。その中に⑤に取り上げられた東京大学史料編纂所の黒島 敏准教授の資料があった。

今年の10月に開催された黎明館の「戦国島津」展記念 黎明館講演会の講演者として来鹿し10月20日に 演題「アジアの中の島津義久・義弘」という講演をされていたのだ。その時の史料の残部と思われるものが机の上に持ち帰り自由に置いてあったのだ。それをしっかり持ち帰ってきたので、今日は間に合わないが、いずれ読解できたらまた紹介したいと思う。 クマモト タツオ

●2019年12月21日(土) 11:20 Kazu Nishiyama <mfikazu@tkg.att.ne.jp>:

広く海の向こうに目を向け 交易に励んだことは素晴らしい。

昔、ルソン、アンナン、カンボジア遥かオランダと唄われるラジオ連続ドラマがあったように覚えているが、... 西山 和宏

●すべては生き残るため

人類と言わず、生きとし生けるもの日にも続く歴史のようです

なかなか楽しそうで かつ有意義な講座に出席とはさずかに研究熱心だと感服しきです。

島津義弘没後400年記念の催事は長期にわたり、大々的 詳細に行われたようですね！

次回の報告を楽しみにしております。

https://www.pref.kagoshima.jp/ab23/reimeikan/kouza/jisyukikaku/kikaku_tokubetutenji/documents/documents/73432_20190722141033-1.pdf

https://www.pref.kagoshima.jp/ab23/reimeikan/kouza/jisyukikaku/kikaku_tokubetutenji/documents/sengoku.html

●隈元さん

おはようございます。

いつも 資料解説 情報 いただき ありがとうございます。

私 戦国を駆け抜けた島津四兄弟については ほとんどとっていいぐらい 知識を持っていなかったのですが 大石さんから 送られてくる 資料に あなたの コメント 見ながら 勉強しています。

最近 アマゾンの書籍 紹介にも 島津四兄弟に関連する 書物紹介が 増えてきたように感じます。

自分が 興味を持ち始めて せいでしょうか？

少しずつ 勉強していきたいと思っています。

今後共 よろしく お願いします。

今年も 残り少なくなってきました。何かと あわただしさを感じるようになりました。

お身体 ご自愛のほど お過ごしください。

木場 祥雄

●23日

昨日は忙しい中でよく徳永講演会に行きましたね。

いろいろ資料ありがとうございます。

私は昨日、練習後は忘年会でしたが、そのあと誘われて天文館公園近くのカラオケスナックに行きました。8人のメンバーでしたが結構盛り上がって、午前様にはなりませんでしたが、久しぶりに天文館の深夜を満喫でした。

天文館公園のイルミネーションも綺麗でした。

大石くんも年内無休じゃないですか。明日会いましょう。

クマモト

●鹿児島風土記 坊ノ津編はおいしいものにあふれていますね。

食いしん坊の私は、いろいろ想像をたくましくしています。(笑)

さらば動乱の日々⑤の焼き物の部分は知らないことばかりなので、コメントのしようがありません。

最後の鹿児島城(鶴丸城)の記事については、皆さんすでにご存知のように現在、「御楼門」の再建中です。来年の3月の完成を目指していて、来年秋の「かごしま国体」に全国からみえる関係者や観光客にお披露目できそうです。

私もこれまで2回見学に行きましたが、一部建設途中の様子を見ることができるように見学通路も出来ています。



県外の皆さんの参考になるパンフレットを入手しましたので、その写真を添付します。クマモト

●24日 イブの日 いずろの「マルヤガーデンズ5階」

松富かおりのトークショーがありました。『エルドアンのとルコ』の出版記念サイン会を兼ねてでした。

隈元くんご夫妻・南郷善ちゃん(森くんは急に用があって不参加)と一緒に見に来てくれました。

● 12月26日

西山さん

こんばんは

本日 あなたの 米国流通業界：西山レポート 2019. 11 / 12 大石さんから メールいただき 読ませてもらいました。

2019. 11 では アメリカの流通 ドローン時代の到来 非常に 興味深く 読みました。

日本も 同じようなことが 企画されているような 記事を読みました。

日本も そう 遠くないような話では ないかと思えます。

2019. 12 ではアマゾンの商売 日本でも スマホでの購入 急激に 増えているようです。

今まで 儲けた 所得税を 日本に 落としていなかったとか？ 今年11, 12月から 税務署へ 支払う ことにしたとか？

アメリカでは 牛肉 を ホルモン剤を使い 生育期間を 早くし 精肉販売する？とか ヨーロッパ諸国ではこのアメリカ牛肉は 輸入禁止となったいとか 日本は この安い牛肉を輸入しておる。

このホルモン剤を使った 牛肉を食べると 乳がんの発生率が 高いとか という 記事を読みました・・・
何か このあたりの情報を お持ちでしたら 教えて下さい。

以上 よろしく

木場 祥雄

●ドローン：日本では、どこそこの企業やストアが活用する予定などの話題提供は行われるでしょうが
日常的な美として軌道に乗せるのは大変でしょう。

ドローン活用のベースとして、少なくとも下記の3つは必要です。それらはeコマース成功のベースでもあります。① 時々刻々の在庫管理

(継続的在庫：perpetual inventory control)

② オンラインでの受注商品を短時間でピッキングして

ドローンに積載出荷するセンター (フルフィルメント・センター)

③ 時々刻々、増減する在庫数量をモニターしながら販売価格の変更を行うシステム

アマゾンの商売

米国のSEC (証券取引委員会) は米国でビジネスを営む企業に活動状況の報告を義務付けていますが
日本では、コカ・コーラやIBMのようなビッグビジネスでもその活動状況や業績についてはブラックボク
スのままだと思います。

アメリカの牛肉：(少し述べますが誤りがあるかもしれませんが) 濃厚飼料に加えて、成長ホルモンが与えられ
ていると思います

牧草で肥育したものはグラスフィードを強調していると思います。

プロイラーと同じ経済効率の追求です。

お金持ちの知識階層は、あやしい物を販売しているストアには行きません。

行かないから問題にしないと思います。

屠殺した枝肉(カーカス)の検査官は有資格者でも業界人です。

日本が米国に対して卑屈なほどに弱腰なことは、米国では米国産の「和牛と名乗る物」がたくさん販売されて
いることです。

「和牛」とブランドは日本だけの物ではありません。

「wagyu in USA」で検索してみてください。

私は、2013年9月、初めて米国に和牛を紹介・売り込む JAPAN WAGYU BEEF EXPORT PROMOTION
COMMITTEE のテクニカルコーディネータとして、ニューヨークに行きました。

現地のジェットロは、予算とスケジュールを消化しただけです。

一方、米国牛の日本向け輸出のプロモーションはワシントンの日本の駐米大使出席のもと大使館で行われまし
た。

日本は不平等条約の改正に努めるべきです。

議員逮捕のIR (カジノ法案) には、ラスベガスの親分さんが絡んでいると思います。その筋で、阿部さんは
当選直後のトランプに会うことはできました。その仲介者は、トランプから良い男だと肩を叩かれていた孫正
義です。

年齢を重ねるとは、このような見聞を貯えるということのようです。西山 和宏

●大石さん

おはようございます。

いつもお世話になります。

先日 西山さん 米国流通界レポート 11月 12月 送っていただき 読んで 西山さんへ 2点 教えて下さいとメールしたところ 早速 返事いただきました。

参考まで そちらへ 転送します。よろしく 木場 祥雄

●西山さん

こんばんは

早速の返事 いただきありがとうございます。

私の質問につき、返事いただきありがとうございます。

事情 よく 理解できました。

IR の件まで コメント いただき 裏で アメリカが 絡んでいる？ 解ります。

日本は 独立国といっても 最近 特に アメリカ 安倍さんは ベツタリで 下手したら アメリカ画集国の五十何番目かの州では なるのでは？ と懸念されます。 アメリカさんの言うこと ごもっとも・・・いった感じがします。

防衛産業 兵器、爆撃機なども 言われ放題 購入している感じします。

来年度 予算 高齢者は ますます 暮らしにくい 世の中となってくるようです。

私共の時代は まだ 良いとして (終身雇用 制度あり、これも 崩れています) 子供、孫の時代の日本はどんな 世の中に なっていることでしょうか！

ガン保険も アメリカ アフラック社の独占で 日本企業(保険や)は 介入出来ていない。 日本郵政はガン保険を取り扱えるようになってきているらしいですね。

だらだらと書いてしまいまして すみません。 まずは 御礼まで 木場 祥雄

●<https://youtu.be/7vRKgRPYrAw> 『松富かおりのMBC出演』ユーチューブ動画

●編集部・管理人から・・・

2019年もあと3日・・・

ほんとうに、ばたばたと(忙しくもないのに)日々だけが走っていくようです。

年末のごたごた(しがらみも含めて)から避けたくて小さな旅に出た頃もありましたが、最近はおっぱら小さな旅にでる孫たち家族を送るだけの年末になってしまいました。

「たまには、ほんと、何も考えない日が欲しい」・・・そう思えるだけでまだ幸せなのかもしれませんね。

毎日毎日、考える元を思い出せなくなる日が来るのかと思えばぞっとします。

世の中、健康体なら寿命が10年は伸びているので、2020年が僕らは『古希』ですか。

傘寿まではあと10年・・・

顔が笑えばこころも、身体も笑う、ドキドキハラハラを消してまた1年を過ごしましょう。

今朝28日の新聞に『島津義弘没400年』のラスト記事が掲載され、無事、1年間(3月からスタート)

来年もお知らせしたい**話題があったら**この『八期交信』続けます。

おいしけいじ